

平成30年度 仙台市立福岡小学校の教育

1 学校経営方針

憲法の本質、教育基本法の理念、学習指導要領及び仙台市教育ビジョンに則り、児童一人一人を深く理解し、人間尊重に根ざした教育愛を持って、個に応じた教育を行うと共に、協働型学校評価を生かし家庭や地域との連携・協力を密にして地域社会に開かれた地域とともに歩む信頼される学校づくりを目指す。

2 教育目標

心ゆたかな気力にみちた児童の育成

めざす児童像

じっくり考える子

思いやりのある子

進んで運動する子

【めざす学校像】

- ・多彩な学びを展開し、将来の夢を育む学校
- ・助け合い、たくましく生きる力を育てる学校
- ・安全・安心に過ごせる学校
- ・保護者や地域から信頼される学校

【めざす教職員像】

- ・子どもに寄り添い、よさを伸ばす教職員
- ・研鑽に励み、指導力向上に努める教職員
- ・使命感にあふれ、心身共に健康な教職員
- ・保護者や地域から信頼され、連携を大切にする教職員

重点努力事項

確かな学力の育成

- ・基礎・基本の確実な定着
- ・個に応じた指導の工夫と充実
- ・自ら学ぶ意欲と学び方を身に付ける指導の推進
- ・読書活動の推進
- ・保護者と連携した家庭学習の充実

豊かな心の育成

- ・命を大切にし、思いやり助け合う人間関係作り
- ・鹿踊・剣舞の伝承活動を道徳の柱とした心の教育づくり
- ・創意ある特別活動の推進

健やかな体の育成

- ・業間マラソン、業間縄跳びによる体力づくり
- ・歯の衛生・管理、給食指導による健康な体づくり

自分づくり教育の推進

- ・鹿踊・剣舞の伝承活動の充実
- ・地域の教育環境を活用した体験学習の充実
- ・たくましく生きる力育成プログラムの実践

地域とともに歩む学校

- ・協働型学校評価の推進
- ・小小交流、小中連携の推進
- ・学校支援地域本部の設置
- ・防災教育の推進
- ・学校・学年だより・ホームページでの積極的な情報公開

めざす児童像の実現に向けて

(1) 「じっくり考える子」とは

学校は、じっくりと時間をかけて考え、自分の考えをしっかりと相手に伝えるなど、様々な考えを持った人々と意見を交わす場である。そこで、互いの良さや力に気づき、さらに自分を高めていこうとする児童を育てたい。

- ① 意欲的に学ぶ子、意欲的に表現する子
- ② 学習の仕方や学び方を身に付け、課題に向き合う子
- ③ 課題のよりよい解決の方法を粘り強く考える子
- ④ 自分の考えを分かりやすく発表しようと工夫する子

方 策	指 導 実 践 事 項
○学習の仕方や学び方の指導 (系統性のある指導)	○話の聞き方や話し方、発表の仕方の基本を指導する。 (福岡小学校学習のやくそく)
○基礎・基本の定着	○誰にでも分かる授業の実践 ○各教科の基礎的・基本的事項を繰り返し学習して定着を図る。(スキルタイムの充実、家庭学習の習慣化)
○問題解決型の学習過程	○多様な学習形態の工夫 ○自力解決(一人学び)から集団解決(話し合いによる練り上げ)へと学習過程を展開させる。
○読書活動の充実	○読書タイムや図書時間、読み聞かせの時間を充実させ、読書への関心と質的な内容を高める。(保護者への声掛け)

(2) 「思いやりのある子」とは

学校は、友達や先生、来校者の方々と触れ合い、コミュニケーションを図る場である。そこから生まれる信頼関係を基盤として相手を思いやり、お互いに協力し合う児童を育てたい。

- ① 進んで気持ちの良いあいさつができる子
- ② 人の気持ちを考えて行動できる子
- ③ 人のために喜んで働く子
- ④ 感謝する心が育っている子

方 策	指 導 実 践 事 項
○道徳教育の充実	○命を大切にする心思いやりのある心の育成 ○「鹿踊・剣舞」の伝承活動の(3つの心【あいさつする心・道具を大切にする心・楽しく踊る心】)を道徳教育の中で実践する
○伝承活動と児童会縦割り活動、交流活動の充実	○伝承活動や児童会縦割り活動、地域の方々との交流活動を通して感謝の心や相手を思いやる心を育む。

(3) 「進んで運動する子」とは

学校は運動するところである。天気の良い日には、進んで校庭に出て友達と元気に運動したり遊んだりする心身共にたくましい児童を育てたい。

- ① 外で元気に運動したり遊んだりする子
- ② 自分で目標を持ち、進んで体をきたえる子
- ③ 自他の命を大切に、健康で安全な生活を心がける子
- ④ 困難に負けない強い心を持ち、粘り強く頑張る子

方 策	指 導 実 践 事 項
○基本的な生活習慣の定着 ○健康な体づくりの推進	○早寝・早起き・朝ご飯を実践するよう指導する。 ○食に関する指導と健康な体づくりへの指導の充実を図る。 ○体力・運動能力調査結果を分析し、児童一人一人に体力・運動能力向上への目標を持たせ、実践化を図る。
○業前活動の充実と外遊びの奨励	○業間のマラソンとなわとびを充実させるために、一人一人が目標を持って取り組むよう指導する。(カードの活用) ○業間や昼休みに学年や縦割りごとの外遊びを実践する。